



取扱説明書

製品名称

エアタンク

型式 / シリーズ / 品番

A T シリーズ

SMC株式会社

● 安全上のご注意	P. 2~5
1. 型式表示方法	P. 6
2. 仕様	P. 7
3. 外形寸法と各部の名称	P. 8
4. 設置・配管及び付属品の取付	P. 9
5. 自主点検及び使用上の注意事項	P. 10
6. 付属品リスト	P. 11
7. 付属品の構造	P. 12~15
8. お問い合わせ先	



安全上のご注意

ここに示した注意事項は、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や損害を未然に防止するためのものです。これらの事項は、危害や損害の大きさと切迫の程度を明示するために、「注意」「警告」「危険」の三つに区分されています。いずれも安全に関する重要な内容ですから、国際規格（ISO/IEC）、日本産業規格（JIS）※1）およびその他の安全法規※2）に加えて、必ず守ってください。

※1） ISO 4414: Pneumatic fluid power — General rules and safety requirements for system and their components

ISO 4413: Hydraulic fluid power — General rules and safety requirements for system and their components

IEC 60204-1: Safety of machinery — Electrical equipment of machines (Part 1: General requirements)

ISO 10218-1: Robots and robotic devices — Safety requirements for industrial robots — Part 1: Robots

JIS B 8370: 空気圧-システム及びその機器の一般規則及び安全要求事項

JIS B 8361: 油圧-システム及びその機器の一般規則及び安全要求事項

JIS B 9960-1: 機械類の安全性 - 機械の電気装置(第1部: 一般要求事項)

JIS B 8433-1: ロボット及びロボティックデバイス—産業用ロボットのための安全要求事項-第1部: ロボット

※2) 労働安全衛生法 など



危険

切迫した危険の状態、回避しないと死亡もしくは重傷を負う可能性が想定されるもの。



警告

取扱いを誤った時に、人が死亡もしくは重傷を負う可能性が想定されるもの。



注意

取扱いを誤った時に、人が傷害を負う危険が想定される時、および物的損害のみの発生が想定されるもの。

警告

- ① 当社製品の適合性の決定は、システムの設計者または仕様を決定する人が判断してください。
ここに掲載されている製品は、使用される条件が多様なため、そのシステムへの適合性の決定は、システムの設計者または仕様を決定する人が、必要に応じて分析やテストを行ってから決定してください。このシステムの所期の性能、安全性の保証は、システムの適合性を決定した人の責任になります。常に最新の製品カタログや資料により、仕様の全ての内容を検討し、機器の故障の可能性についての状況を考慮してシステムを構成してください。
- ② 当社製品は、十分な知識と経験を持った人が取扱ってください。
ここに掲載されている製品は、取扱いを誤ると安全性が損なわれます。
機械・装置の組立てや操作、メンテナンスなどは十分な知識と経験を持った人が行ってください。
- ③ 安全を確認するまでは、機械・装置の取扱い、機器の取外しを絶対に行わないでください。
 1. 機械・装置の点検や整備は、被駆動物体の落下防止処置や暴走防止処置などがなされていることを確認してから行ってください。
 2. 製品を取外す時は、上記の安全処置がとられていることの確認を行い、エネルギー源と該当する設備の電源を遮断するなど、システムの安全を確保すると共に、使用機器の製品個別注意事項を参照、理解してから行ってください。
 3. 機械・装置を再起動する場合は、予想外の動作・誤動作が発生しても対処できるようにしてください。
- ④ 当社製品は、製品固有の仕様外での使用はできません。次に示すような条件や環境で使用するには開発・設計・製造されておりませんので、適用外とさせていただきます。
 1. 明記されている仕様以外の条件や環境、屋外や直射日光が当たる場所での使用。
 2. 原子力、鉄道、航空、宇宙機器、船舶、車両、軍用、生命および人体や財産に影響を及ぼす機器、燃焼装置、娯楽機器、緊急遮断回路、プレス用クラッチ・ブレーキ回路、安全機器などへの使用、およびカタログ、取扱説明書などの標準仕様に合わない用途の使用。
 3. インターロック回路に使用する場合。ただし、故障に備えて機械式の保護機能を設けるなどの2重インターロック方式による使用を除く。また定期的に点検し正常に動作していることの確認を行ってください。



安全上のご注意

注意

当社の製品は、自動制御機器用製品として、開発・設計・製造しており、平和利用の製造業向けとして提供しています。製造業以外でのご使用については、適用外となります。

当社が製造、販売している製品は、計量法で定められた取引もしくは証明などを目的とした用途では使用できません。

新計量法により、日本国内で SI 単位以外を使用することはできません。

保証および免責事項/適合用途の条件

製品をご使用いただく際、以下の「保証および免責事項」、「適合用途の条件」を適用させていただきます。下記内容をご確認いただき、ご承諾のうえ当社製品をご使用ください。

『保証および免責事項』

- ①当社製品についての保証期間は、使用開始から1年以内、もしくは納入後1.5年以内、いずれか早期に到達する期間です。^{※3)}
また製品には、耐久回数、走行距離、交換部品などを定めているものがありますので、当社最寄りの営業拠点にご確認ください。
- ②保証期間中において当社の責による故障や損傷が明らかになった場合には、代替品または必要な交換部品の提供を行わせていただきます。なお、ここでの保証は、当社製品単体の保証を意味するもので、当社製品の故障により誘発される損害は、保証の対象範囲から除外します。
- ③その他製品個別の保証および免責事項も参照、ご理解の上、ご使用ください。

※3) 真空パッドは、使用開始から1年以内の保証期間を適用できません。

真空パッドは消耗部品であり、製品保証期間は納入後1年です。

ただし、保証期間内であっても、真空パッドを使用したことによる摩耗、またはゴム材質の劣化が原因の場合には、製品保証の適用範囲外となります。

『適合用途の条件』

海外へ輸出される場合には、経済産業省が定める法令(外国為替および外国貿易法)、手続きを必ず守ってください。

機種選定／使用条件範囲

機種選定の場合は、使用目的や要求仕様、ご使用になる条件（流体、圧力、流量、温度、環境）を十分確認の上、仕様範囲を超えないように選定してください。取扱いを誤りますと、思わぬ事故につながります。

警告

- ①使用圧力について
使用圧力範囲を超えた圧力で使用しないでください。
- ②使用温度について
使用温度範囲を超えた温度で使用しないでください。
- ③使用流体について
 - ・ 図面及びカタログ記載の流体以外には使用しないでください。
 - ・ 製品各部の使用材質を腐食または膨潤させる流体には使用しないでください。
 - ・ 本製品は、第二種圧力容器適合品です。気体を使用する場合でその他の圧力容器の法規（高圧ガス保安法など）の適用を受ける場合は使用できません。
 - ・ ガasketに対して膨潤や劣化を引き起こす流体には使用しないでください。
- ④使用環境について
 - ・ 腐食により変色や材料の劣化を起こすような使用条件や環境では使用しないでください。
 - ・ 振動や衝撃がかかる場所では使用しないでください。
 - ・ 屋外では使用しないでください。

注意

- ①機種選定について
 - ・ 機種選定を行う場合は、カタログ記載の標準仕様を確認の上、適用コンプレッサ（kw）に合わせた機種を選定してください。

設計上のご注意

注意

- ①使用圧力、使用温度、使用流体、使用環境等の使用条件は、製品仕様十分に適合した安全範囲でシステムを設計の上、使用してください。
- ②海外では使用できません。
本製品は日本国内の法規（第二種圧力容器）に準拠したもので、海外各国の法規への適合はしておりません。（ユニットで使用される場合も同様です。）
- ③圧力計は0～45℃の範囲内でご使用ください。
標準附属品の圧力計は、最高使用温度45℃です。
製品の温度が45℃を越える場合は、製品と圧力計の間へパイプサイフォン等の放熱機器を設置してください。
- ④標準附属品のオートドレンを取付けて使用する際は、使用流体温度0～60℃の範囲内でご使用ください。
- ⑤第二種圧力容器明細書は大切に保管してください。
本製品は第2種圧力容器に該当します。製品より2～4週間遅れて送付される明細書は紛失しないように保管してください。（注意：再発行できません。）
- ⑥本製品の内面は無処理です。内面錆が許容できない場合、内面塗装品、内面防錆処理品、ステンレス仕様品が特注で対応が可能です。
- ⑦本製品を設置した空気圧ラインにおいて、本製品以降に必要な応じたフィルターの設置を行ってください
- ⑧配管側から過大なモーメント荷重や振動の伝播を受けないようにしてください。
- ⑨保守取扱い上、スペースに余裕を取ってください。
- ⑩横型タイプ、口径変更、位置変更等についても特注で対応が可能です。

設置上のご注意

⚠ 注意

- ① IN・OUTを間違えないように接続してください。
(安全弁は、空気流入量より選定しています。)
- ②各接続ポートのサイズを確認し、使用条件に適合したバルブや管継手を使用して配管してください。
接続時に配管ねじの切粉やシール材が配管内部へ入り込まないようにしてください。
本運転に先立ち、配管ラインのフラッシングを行い、漏れ等の異常のないことを確認してください。
- ③配管は、振動や重量によって負荷がかからないようにサドル等を使用して架台などにしっかりと固定してください。
- ④本製品は、使用時にドレンが溜まりますので、容器内のドレン抜きが必要です。ドレン抜き作業が必ず行えるようにしてください。
- ⑤エア抜き作業が必ず行えるようにしてください。
- ⑥低温時の運転
冬季等の低温時には、容器内のドレンが凍結する場合があります。
ドレンが凍結する可能性がある場合は、断熱材等の敷設によって凍結を防止してください。
- ⑦本製品は水平なコンクリートなどの床に基礎ボルトで確実に固定してください。基礎ボルトのサイズは、カタログを参照してください。
- ⑧固定用アンカーボルトについて
あと施工アンカーに関する計算結果は、
施工面の状況により変化しますので、施工条件を確認しお客様自身で計算をお願いします。

操作上のご注意

⚠ 警告

- ①加圧状態では絶対に締結部分(ボルトなど)を緩めないでください。

⚠ 注意

②運転時

加圧時には、各接続部が完全にシールされていることを確認し、漏れ等の異常があれば、直ちに停止してください。

原因調査の上、漏れ箇所への適切な処置(新しいガスケットへの交換及び管継手の増し締め等)を行った後に操作を再開してください。

保守点検

⚠ 警告

- ①保守点検は、手順を誤りますと漏れや閉止フランジの外れ等が生じ、思わぬ事故になる恐れがあります。取扱説明書記載の手順で行ってください。
- ②保守点検は、ラインを停止して圧力が大気圧(ゲージ圧力:ゼロ)になったことを確認してから行ってください。

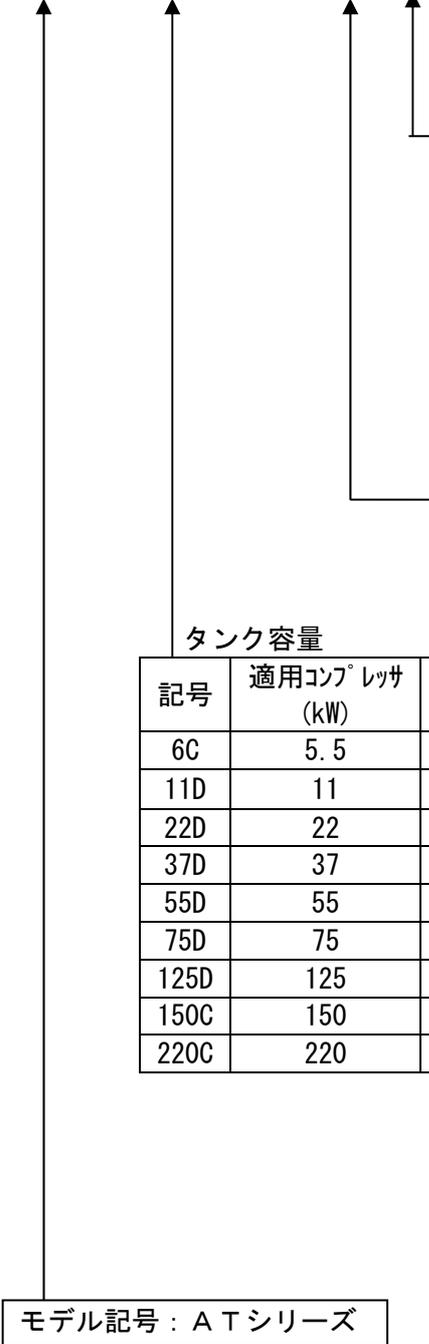
⚠ 注意

①保守点検作業

- ・取扱いを誤ると、機器や装置の破損や作動不良の原因となります。
 - ・保守点検作業を行う際は、必ず、保護手袋、保護メガネ等を着用してください。
 - ・保守点検作業後、取扱説明書に従って製品の各部品は所定の位置に正しく装着・組付けを行ってください。
- ②各部の清掃
保守点検時、シールを確実にするためガスケットのシート面、各締結部およびネジ部の付着物を清掃して除去してください。
 - ③ガスケットの交換
劣化や膨潤等の異常の生じたガスケットは交換してください。
また、使用后1年または漏れが発生した場合にもガスケットの交換を行ってください。
 - ④表面温度について
高温(40℃~100℃)でご使用の場合は“やけど”などの危険があります。
やけど防止のため保守点検作業は、製品表面温度が40℃以下になったことを確認してから行ってください。

1. 型式表示方法

AT 125D-30□



タンク容量

記号	適用コンプレッサ (kW)	容量 (L)
6C	5.5	100
11D	11	200
22D	22	400
37D	37	500
55D	55	700
75D	75	1000
125D	125	1500
150C	150	2000
220C	220	3000

オプション（附属品）

記号	名称
無記号	—
D	オートドレン付
F	相フランジ付
DF	オートドレン、相フランジ付

管接続口径

記号	サイズ	適用型式
04	Rc 1/2	AT6C
06	Rc 3/4	AT11D
14	Rc 1 ¹ / ₂	AT22D, 37D
20	2 ^B JIS 10K FF フランジ	AT55D, 75D
30	3 ^B JIS 10K FF フランジ	AT125D
40	4 ^B JIS 10K FF フランジ	AT150C, 220C

モデル記号：ATシリーズ

2. 仕様

表 1 仕様

型式	AT6C	AT11D	AT22D	AT37D	AT55D	AT75D	AT125D	AT150C 注 1)	AT220C 注 1)
公称容量 L	100	200	400	500	700	1000	1500	2000	3000
質量 Kg	55	115	180	205	275	395	505	775	965
管接続口径	Rc1/2	Rc3/4	Rc1 ¹ / ₂		2B フランジ [°] 注 2)		3B フランジ [°] 注 2)	4B フランジ [°] 注 2)	
使用流体	圧縮空気								
最高使用圧力 MPa	0.97								
保証耐圧力 (水圧試験) MPa	1.46								
使用流体温度	0~100℃ (但し、圧力計付の場合：0~45℃、オートドレ [°] 付の場合：0~60℃)								
材質	鋼板 (SS400)							鋼板 (SS400, SM490B)	
塗装色	外面：マンセル N 5. 5、内面：無処理								
注 3) 付属品	安全弁 (1 個)	Rc1/2	Rc3/4	Rc1 ¹ / ₄		Rc1 ¹ / ₂		R2	
	ドレ [°] 抜き バルブ [°] (1 個)	Rc1/2							
	圧力計 (1 個)	R3/8 形状 D2 (2MPa ゲージ)							
	L 型 アンカーボルト・ ナット (4 個)	M16 × L250			M16 × L300			M16 × L500	M24 × L500

注 1) 受注生産品です。

注 2) JISB2220 (JIS 10K フランジ) になります。

注 3) 上記付属品は、標準装備となります。また、付属品はお客様にて取付け願います。
安全弁の設定圧力は、「0.97MPa」です。

注 4) 本製品は、「耐圧証明書 (第二種圧力容器検定合格証) 付」となります。

オプション (付属品)

型式	オートドレ [°] (D)	相フランジ (F)
AT6C	AD402-04	—
AT11D		—
AT22D		—
AT37D		—
AT55D		2 ^B JIS 10K FF フランジ [°]
AT75D		3 ^B JIS 10K FF フランジ [°]
AT125D		4 ^B JIS 10K FF フランジ [°]
AT150C		
AT220C		

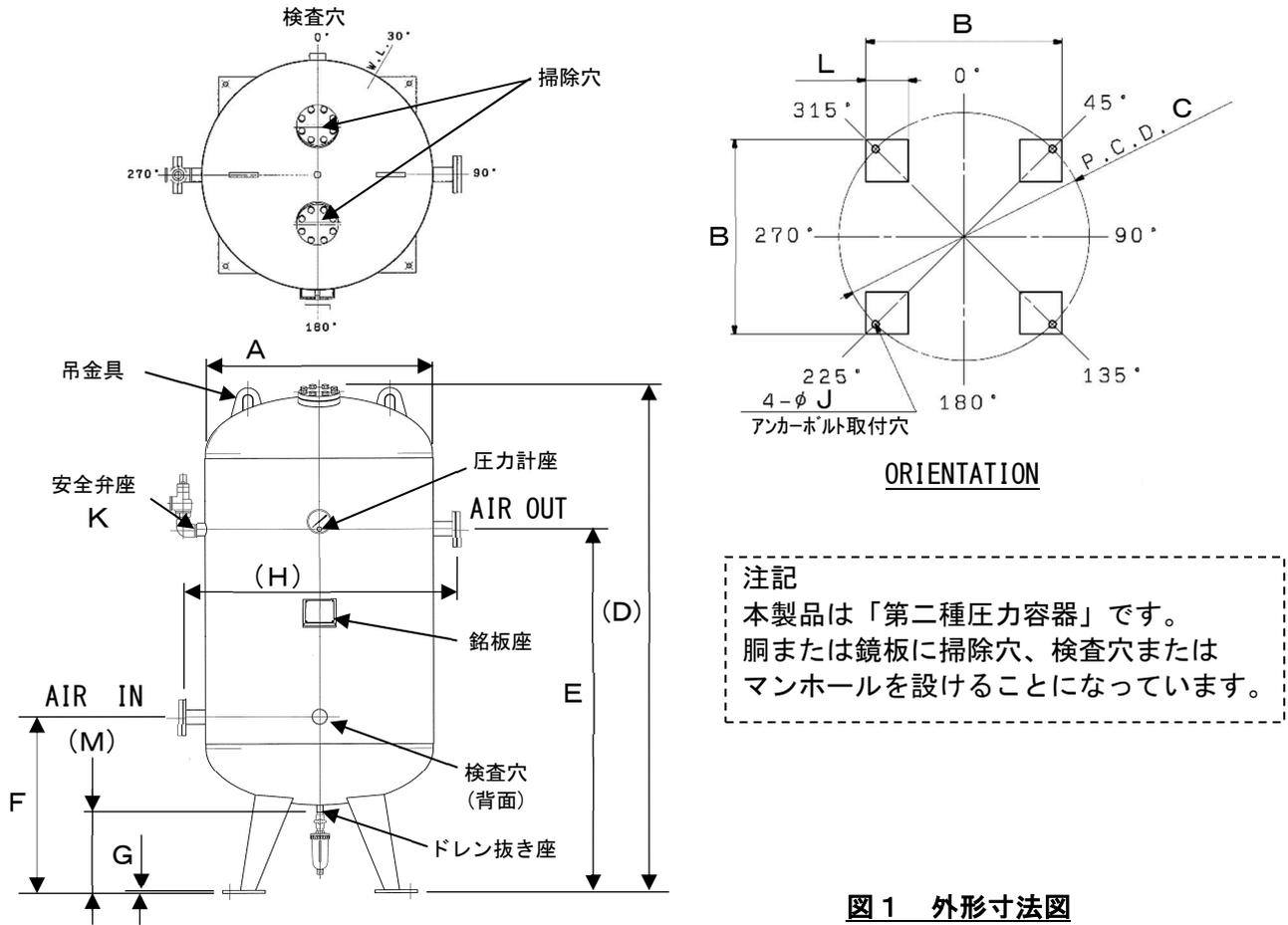
交換部品

型式	圧力計	掃除穴用 ガスケット	マンホール用 ガスケット
AT6C	AT-SA001	—	—
AT11D		411419	
AT22D			
AT37D			
AT55D			
AT75D			
AT125D		—	412013
AT150C			
AT220C			

注 1) 付属品はお客様にて取付け願います。(型式表示に基づいて手配願います。)

注 2) 交換部品以外の部品につきましては単体出荷不可です。

3. 外形寸法と各部の名称



MODEL \ 記号	A	B	C	D	E	F	G	H	J	K	L	M	空気出入口側接続		アンカボルト
													ソケット	フランジ	
AT6C-04	406.4	361	440	1268	1000	550	6	528	19	Rc 1/2	80	333	Rc 1/2	—	M16×L250
AT11D-06	609	510	650	1266	945	645	9	751	19	Rc 3/4	110	333	Rc 3/4	—	M16×L250
AT22D-14	609	510	650	1986	1340	740	9	812	19	Rc 1 1/4	110	333	Rc 1 1/2	—	M16×L250
AT37D-14	609	510	650	2286	1340	740	9	812	19	Rc 1 1/4	110	333	Rc 1 1/2	—	M16×L300
AT55D-20	962	824	1080	1557	1100	750	12	1215	19	Rc 1 1/2	180	341	—	2B	M16×L300
AT75D-20	962	824	1080	2167	1550	750	12	1215	19	Rc 1 1/2	180	341	—	2B	M16×L300
AT125D-30	962	824	1080	2777	1650	750	12	1240	19	Rc 2	180	341	—	3B	M16×L500
AT150C-40	1218	1019	1300	2558	1700	850	16	1495	27	Rc 2	260	344	—	4B	M24×L500
AT220C-40	1218	1019	1300	3288	1700	850	16	1495	27	Rc 2	260	344	—	4B	M24×L500

AT * Cシリーズは、次のように一部寸法図と異なります。

AT6C	検査穴用ねじ込みソケット Rc 1 1/2 : 2個
AT150C~AT220C	マンホール (長径400×短径300) 1個

4. 設置・配管及び付属品の取付

【1】設置・配管

- ② 保守点検に必要なスペースを確保して設置・配管してください。
- ② 本製品は、平坦で強固な基礎の上に確実に付属のアンカーボルトで固定してください。
- ③ 各接続ポートのサイズを確認し、使用条件に適合したバルブや管継手を使用して配管してください。その他「安全上のご注意」を確認のうえご使用ください。

【2】付属品の取付

- ① 付属品は、本体と別梱包されております。図2により付属品の確認をしてください。
- ② 付属品のオスねじ部にシールテープを巻き、図2を参考にパイプレンチ、スパナ等で確実に強固にねじ込んでください。

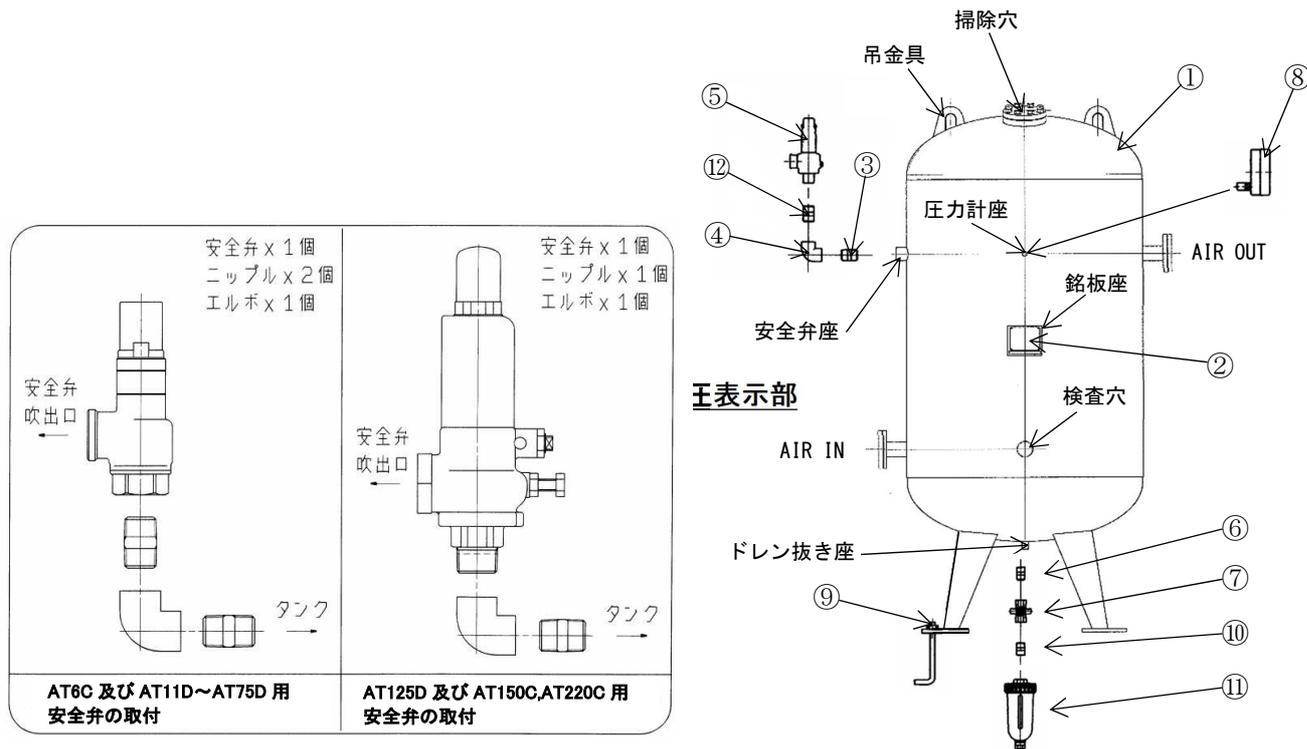


図2 付属品の取付

	番号	名称	材質	個数	備考	
本体	①	タンク	SS400	1	AT150C、AT220Cの胴部はSM490B	
	②	銘板	SUS304	1		
付属品	③	ニップル	SGP	1		
	④	エルボ	FCMB	1		
	⑤	安全弁	AT6C, AT11D~AT75D	SCS13	1	タンクとの接続部はRc
			AT125D, AT150C, AT220C	FCD-S	1	タンクとの接続部はR
	⑥	ニップル	SGP	1	R1/2	
	⑦	ボールバルブ	C3771	1	Rc 1/2	
	⑧	圧力計	—	1	R3/8, φ100, 2.0MPa	
	⑨	アンカーボルト・ナット	SS400	4		
	⑩	ニップル	SGP	1	オプションD(オートドレン)付の時のみ	
	⑪	オートドレン	—	1	オプションD(オートドレン)付の時のみ	
	⑫	ニップル	SGP	1	AT6C, AT11D~AT75Dのみ	

5. 自主点検及び使用上の注意事項

【1】自主点検

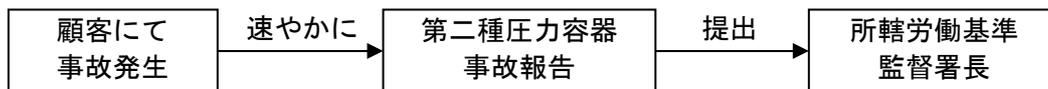
- ① 1年に一回定期に次の事項について自主点検を行い、損傷や摩耗の有無を確認し、その結果を3年間保管してください
 - 1) 本体の損傷の有無
 - 2) ふたの締付ボルトの摩耗の有無
 - 3) 管及び弁の損傷の有無
- ② 上記自主点検の際には、下記事項の実施・確認を行ってください。
 - 1) 運転を停止してください。
 - 2) 本製品に設置されている圧力計で圧力がゼロであることを確認してください。

警告 : 本製品の内圧がゼロであることを確認してから、作業を実施してください。

注意 : 高温でご使用の場合は、やけど防止のため作業前に表面温度が40℃以下であることを確認してください。

【2】使用上の注意事項

- ① 本製品に、アングル、取手等を直接溶接する等の改造は絶対にしないでください。
- ② もし万一破裂事故があった場合は、事故報告を所轄労働基準監督署長に提出してください。
- ③ **第二種圧力容器検定合格証は、絶対に紛失しないでください。(再発行できません。)**
大切に保管し、労働基準監督署から指示を求められた場合はいつでも見せられるようにしておく必要があります。



〔万一紛失した場合〕

最寄りの『公益社団法人ボイラ・クレーン安全協会』へ直接お問い合わせ願います。

- ④ 45℃以上の温度での圧力計のご使用はさけてください。タンク本体が高温となる場合は、圧力計との間に放熱部を設けてください。
- ⑤ 60℃以上の温度でのオートドレンのご使用はさけてください。タンク本体が高温となる場合はタンクとオートドレンの間に放熱部を設けてください。

6. 付属品のリスト

表2 付属品のリスト

品目 型式	圧力計(φ100, 2MPa)		安全弁	ドレン抜き バルブ	アンカーボルト ・ナット
	口径	型式	口径		
AT6C-04	R 3/8	AT-SA001	R 1/2	Rc 1/2, ホール弁	M16×L250
AT11D-06	"	"	R 3/4	"	"
AT22D-14	"	"	R1 1/4	"	"
AT37D-14	"	"	R1 1/4	"	M16×L300
AT55D-20	"	"	R1 1/2	"	"
AT75D-20	"	"	R1 1/2	"	"
AT125D-30	"	"	R2	"	M16×L500
AT150C-40	"	"	R2	"	M24×L500
AT220C-40	"	"	R2	"	"

7. 付属品の構造

【1-1】安全弁構造（標準装備）

- ① 安全弁の吹出圧力は、0.97MPaに設定されています。
- ② 安全弁の設定圧力は、絶対に変えないで下さい。

【SL-38DU（AT6C、AT11D～AT75D用）の構造】

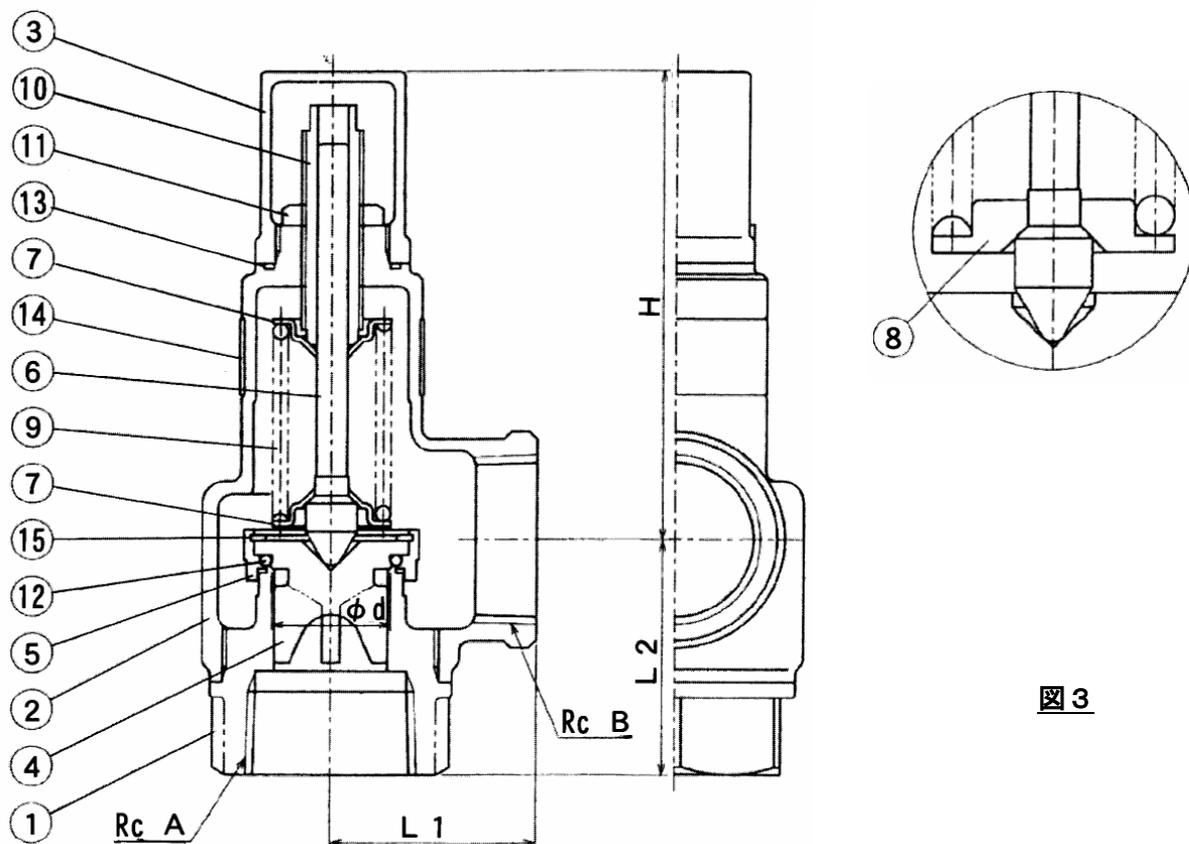


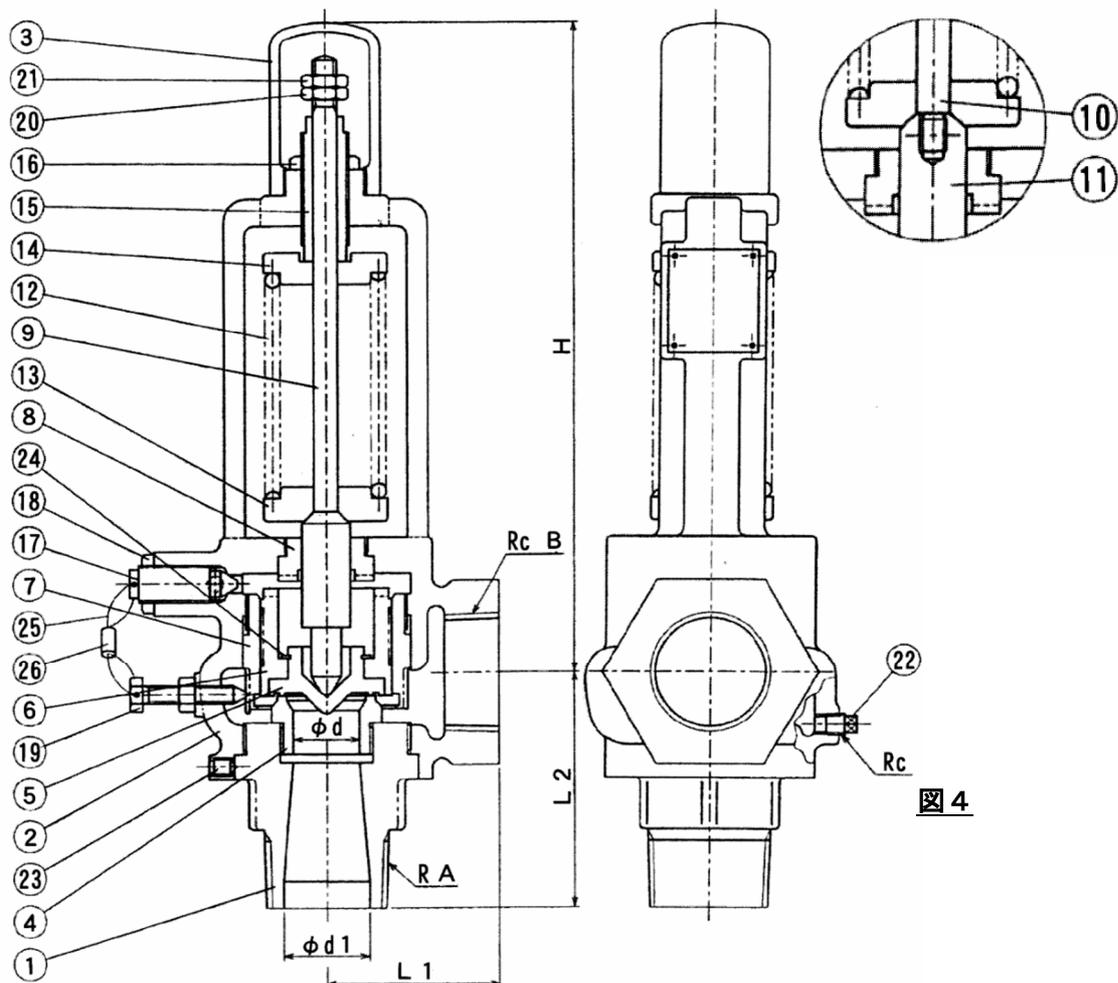
図3

番号	名称	材質	番号	名称	材質
①	本体	SCS13	⑨	調節ばね	〃
②	ばねケース	鉛レス青銅鑄物	⑩	調節ねじ	C3604
③	キャップ	〃	⑪	調節Lナット	〃
④	弁体ガイド	SCS13	⑫	Oリング	FKM
⑤	ホルダー	SUS303	⑬	ガスケット	PTFE
⑥	ステム	SUS304	⑭	ネームプレート	A1050P
⑦	ばね受け	〃	⑮	C型止め輪	SUS304
⑧	下ばね受け	〃			

(単位：mm)

エアタンク型式	呼び径	弁座口の 口径	接続ネジ部		L1	L2	d	H	質量 (kg)
			Rc A	Rc B					
AT6C	15	15	1/2	1/2	30	36	13	84	0.6
AT11D	20	20	3/4	3/4	35	40	18.6	89	0.7
AT22D・37D	32	32	1 1/4	1 1/4	50	54	29.4	114	1.4
AT55D・75D	40	40	1 1/2	1 1/2	55	60	36.7	120	2.0

[SF-2HU (AT125D, AT150C, 220C用) 構造]



番号	名称	材質	番号	名称	材質
①	本体	FCD-S	⑭	上げね受け	SS400
②	ばねケース	FCD-S	⑮	調節ねじ	C3604B
③	キャップ	FC200	⑯	調節Lナット	SS400
④	弁座	SUS304	⑰	ニードル弁	SS400
⑤	弁体	SUS630	⑱	ニードルLナット	SS400
⑥	弁体押え	SUS403	⑲	セットボルト・ナット	SS400
⑦	加減輪	鉛レス青銅鑄物	⑳	ステムナット	S10C
⑧	ステムアンナイ	C3604B	㉑	ロックナット	SUS304
⑨	ステム	SUS416	㉒	プラグ	SUS420
⑩	ステム	SWOSM-B	㉓	止めねじ	SUS304
⑪	ステムヘッド	SS400	㉔	止め輪	(アルミ管)
⑫	調節ばね	SS400	㉕	封印詮	A1050P
⑬	下げね受け	SUS403	㉖	封印玉	SUS304

(単位 : mm)

エアタンク型式	呼び径	弁座口の口径	接続ネジ部		L1	L2	d	d1	H	Rc	質量 (kg)
			RA	Rc B							
AT125D, AT150C, AT220C	40	40	2	2	70	100	30	40	297	3/8	11.2

【1-2】安全弁の設置上のご注意

⚠ 警告

安全弁の出口側には吹出し管を接続し、吹出し管は流体が吹出しても安全な場所へ導いてください。安全が確保できない場合、流体の吹出しにより怪我をする恐れがあります。(図5参照)

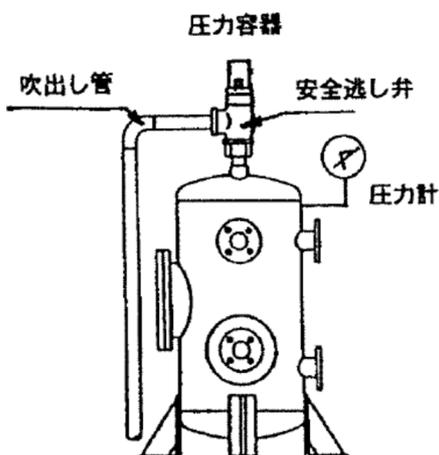


図5 圧力容器への安全弁設置及び吹出し管設置例

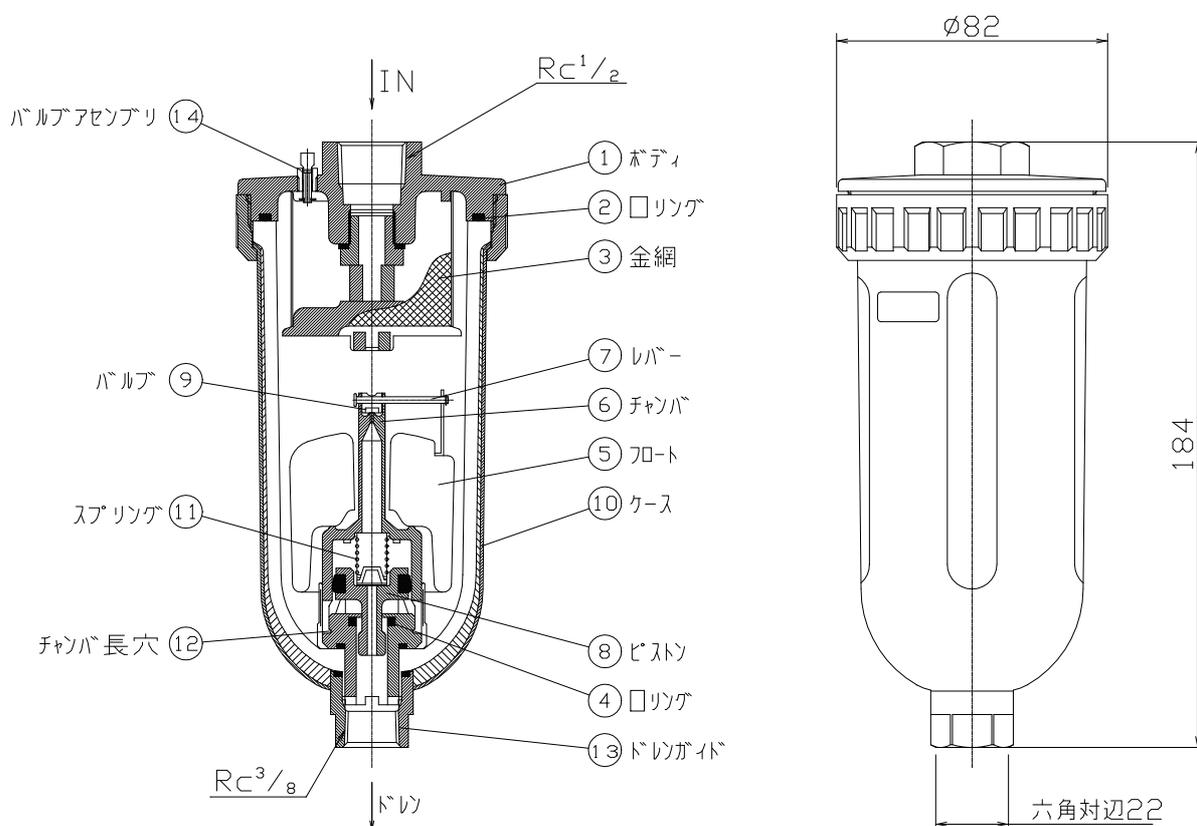
⚠ 注意

- ① 安全弁の設置部は、吹出しにより反動力を受けますので、この反動による圧縮、せん断、曲げ応力に対し十分な強度、剛性が得られるようにエアタンクとの接続を確実に行ってください。
- ② 安全弁の出口側の吹出し管は、固定や支持をし、安全弁に不当な力（熱応力を含む）が生じないようにしてください。吹出し管の固定や支持をしない場合、安全弁の損傷や作動不良などの原因となります。
- ③ 安全弁の吹出し管の内径は、安全弁の出口径以上としてください。吹出し管の内径が小さい場合、所定の吹出し量が得られない、または作動不良などの原因となります。
- ④ 安全弁の設置場所が、流体の吹出しにより警報器などが作動する恐れがある場合や、周辺の機器などを汚染する恐れのある場合は、吹出し管を屋外に導いてください。
- ⑤ 安全弁をエアタンクに取り付ける前に配管継手やエアタンク内のスケール、塵埃などの異物の除去を十分に行ってください。異物の混入により、弁座漏れ、作動不良などの原因となります。
- ⑥ 安全弁を接続する際には、入口、出口を間違えないようにしてください。また、安全弁の取付け姿勢は、垂直に取り付けてください。誤った取付けをした場合、安全弁の機能が発揮できません。
- ⑦ 安全弁をエアタンクに接続する場合、安全弁本体の六角部にスパナ等の工具をかけて締付けてください。安全弁本体に荷重をかけて締付けたり、方向を変えたりしないでください。ねじ部の破損や緩みによる流体の漏れや弁座漏れの原因となります。

【2】オートドレン（オプション）

- ① ケース内部に圧力が加わっていない場合
フロートは、自重で下がり、バルブはチャンバの穴を閉じています。ピストンは、スプリングによって押し下げられドレンはチャンバの長穴を通してドレンハウジング内に入り排出されます。
- ② ケース内部に圧力が加わった場合
圧力が0.15MPa以上になりますと、スプリングの力に打ち勝ってピストンは上昇し、Oリングに接触してケース内部は外部と遮断されます。
- ③ ドレンが溜まった場合
フロートは浮力によって上昇し、チャンバの穴を開き圧力がチャンバ内に入りピストンは内圧やスプリングの力により下降し、溜まっていたドレンはドレンガイドから排出されます。

【AD402-04の構造】



- 注1) ドレン排出配管を行う場合は配管内径 $\phi 10$ 以上のものを使用し、長さは全て5m以内にして下さい。また、立上り配管は避けてください。
- 注2) 使用コンプレッサは3.7kW(吐出流量400L/min)以上で御使用ください。
- 注3) ドレンの流れ込みが悪い場合は、バルブアセンブリを開けて内圧を少し下げてください。
- 注4) 月に1回程度、金網にたまったゴミを取り除いてください。

図6 オートドレンの構造、寸法

改訂履歴

初版：2017年4月
改訂：2020年8月
改訂：2021年7月
改訂：2024年3月

SMC株式会社 お客様相談窓口

URL <https://www.smcworld.com>



0120-837-838

受付時間/9:00~12:00 13:00~17:00【月~金曜日, 祝日, 会社休日を除く】

⑩ この内容は予告なしに変更する場合がありますので、あらかじめご了承ください。

© SMC Corporation All Rights Reserved